

札幌JC

[北海道]

現役時代の経験を生かし、 それぞれの立場で地域に貢献する

札幌

JCは認証番号18番のLOMとして1951年に設立以来、本年で55年目を迎え、現在シニア会員数1100名を有しております。

シニア会の集まりとしては、年一回のシニア総会、LOMの創立記念例会、現役の卒業例会、理事長杯ゴルフなど年4回ほど公式な集まりがあり、旧交を温めております。

札幌JCは1964年、79年に全国会員大会主管、1975年JCIアジアコンファレンス(現ASPC)主管、2000年にはJCI世界会議主管、そのほかにも地区大会を数回主管と多くの大会を誘致しております。シニア会の集まりでは現役時代にそれぞれかわった大会の思い出話で花が咲き、楽しいひとときを過ごしております。

特に、最も直近に開催されたJCI世界会議は、10年間の誘致活動を経て開催されましたので、その間多くのメンバーが日本国内はもとより世界中を駆け巡った経験を共通体験として持っております。駆け巡った先々のエピソードなど話も尽きることなく、夜が更けるまで楽しんでいることもしばしば。

また、どのLOMでも存在すると思いますが、生まれた年の干支を名前にした卒業同期単位でのシニア会も



創立記念例会にてあいさつをするシニア会会長

各年度ごとに組織され、年度対抗ゴルフ会、麻雀会、飲み会、家族会なども開催され、シニア会全体での縦の絆、卒業年度ごとの横の絆がうまく絡み合って強力な絆となっております。シニア一人ひとりが、それぞれの立場で地域にご貢献されておりますので、シニア会組織としての対外的な事業などに取り組むようなことはありませんが、現役メンバーが「卒業したらシニア会に入るんだ」「卒業までJCを全うしよう」。そんな風に思ってもらえるような魅力あるシニア会を創り続けていくことが、現役に対する大い



シニア総会

なるサポートであり、それがシニア会の存在意義であると感じながら活動を続けております。

日本JCシニア・クラブ

道央ブロック担当幹事 橋本 毅